

北十勝ファーム(有)と素牛生産預託に関する覚書を締結 有機 JAS 認証牛の生産を支援

コープデリ連合会（本部：埼玉県さいたま市、理事長：土屋 敏夫、会員生協：関東信越の7生協）は、持続可能な生産・消費、国内における有機牛の生産者支援、安定した商品供給を目的として、北十勝ファーム有限会社（本社：北海道足寄郡、代表取締役：上田 金穂）と素牛生産預託に関する覚書を締結しました。

有機畜産物は、家畜に有機栽培された飼料を与え、密飼いを避け家畜にストレスを与えないなど、家畜に十分留意した飼育方法を行う畜産業を指します。コープデリ連合会は、有機 JAS の認証を受けた畜産物や加工商品の利用を通じて持続可能な畜産業を支援し、国内における有機畜産物の生産・利用を広げていくことを目的に、今回の覚書の締結に至りました。

有機 JAS 畜産物の生産事業は、有機用設備の導入などの初期費用がかかります。また有機牛は、出生から出荷までには約 28 カ月を必要とし、その間の収入は無く自己資金対応となることから、生産者にとって経営的に厳しい状況が想定されます。

コープデリ連合会は、北十勝ファームで出生した子牛を買い取り、育成を預託して預託料を毎月支払うことで、資金の回転率を高め、経営の安定化を支援いたします。

●覚書の概要

対象：北十勝ファームの一部門である「はなゆき農場」が準備を進めている有機 JAS 認証短角牛生産事業

期間：2020 年度預託分（2022 年度出荷分）～2024 年度預託分（2026 年度出荷分）

※2025 年度以降については、2024 年に改めて協議

投入頭数の計画（目安）：

年度	取得頭数	出荷頭数
2020	5	0
2021	15	0
2022	25	5
2023	25	15
2024	25	25



コープデリ連合会と会員生協は、2015年に国連で採択された17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」の実現に、事業と活動を通して貢献します。 ※詳しくはこちら <https://sustainability.coopdeli.coop/>

《コープデリ生活協同組合連合会 概要》

【住 所】埼玉県さいたま市南区根岸 1-4-13

【総事業高】5,533 億円（会員生協計・2018 年度）

【理 事 長】土屋 敏夫（つちや としお）

【ホームページ】<https://www.coopnet.jp/>

【組合員数】508 万人（2020 年 4 月 20 日現在）

【会員生協】コープみらい、いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま、コープながの、コープにいがた、コープクルコ